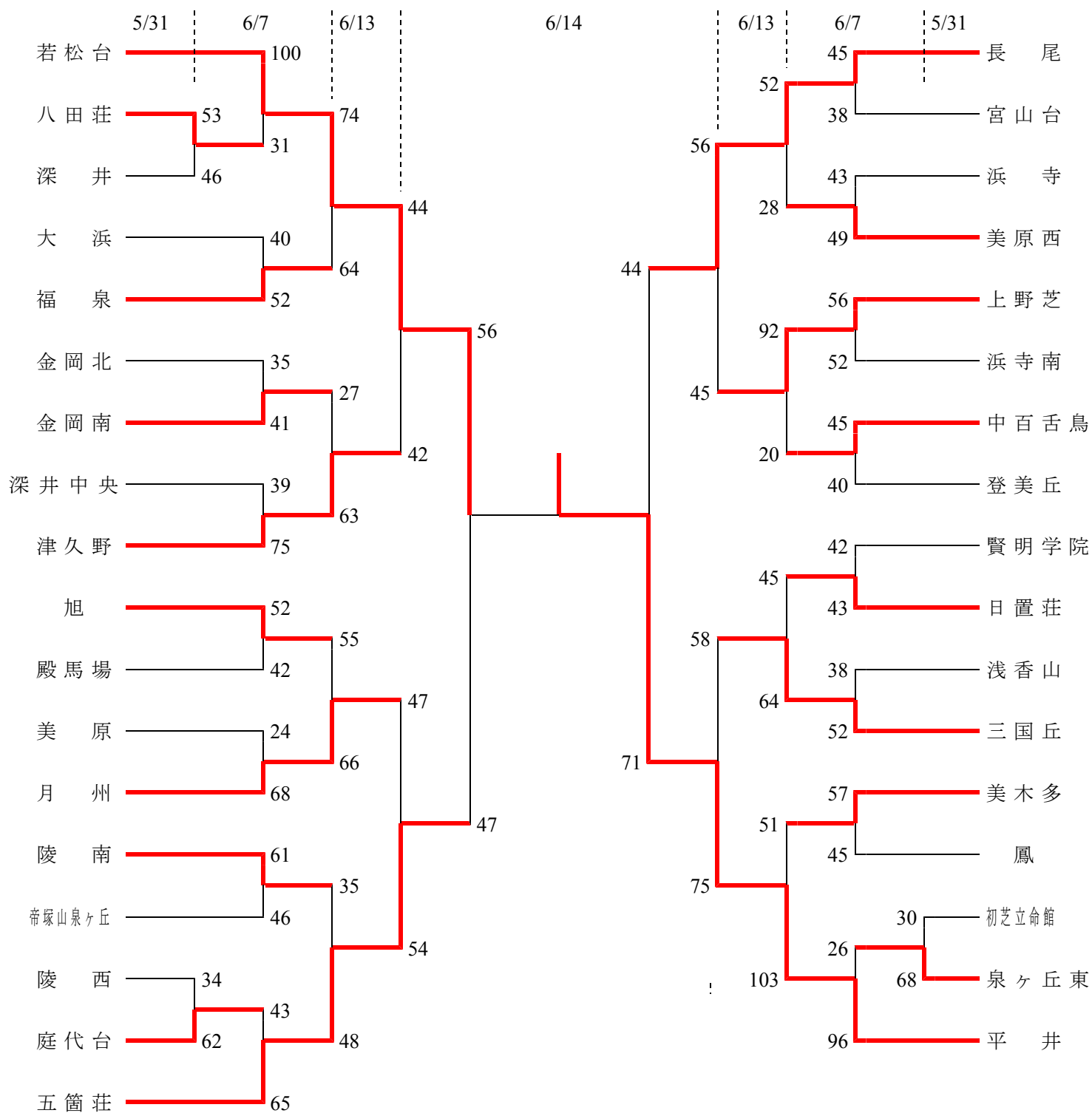


2015年度堺市種目別優勝大会

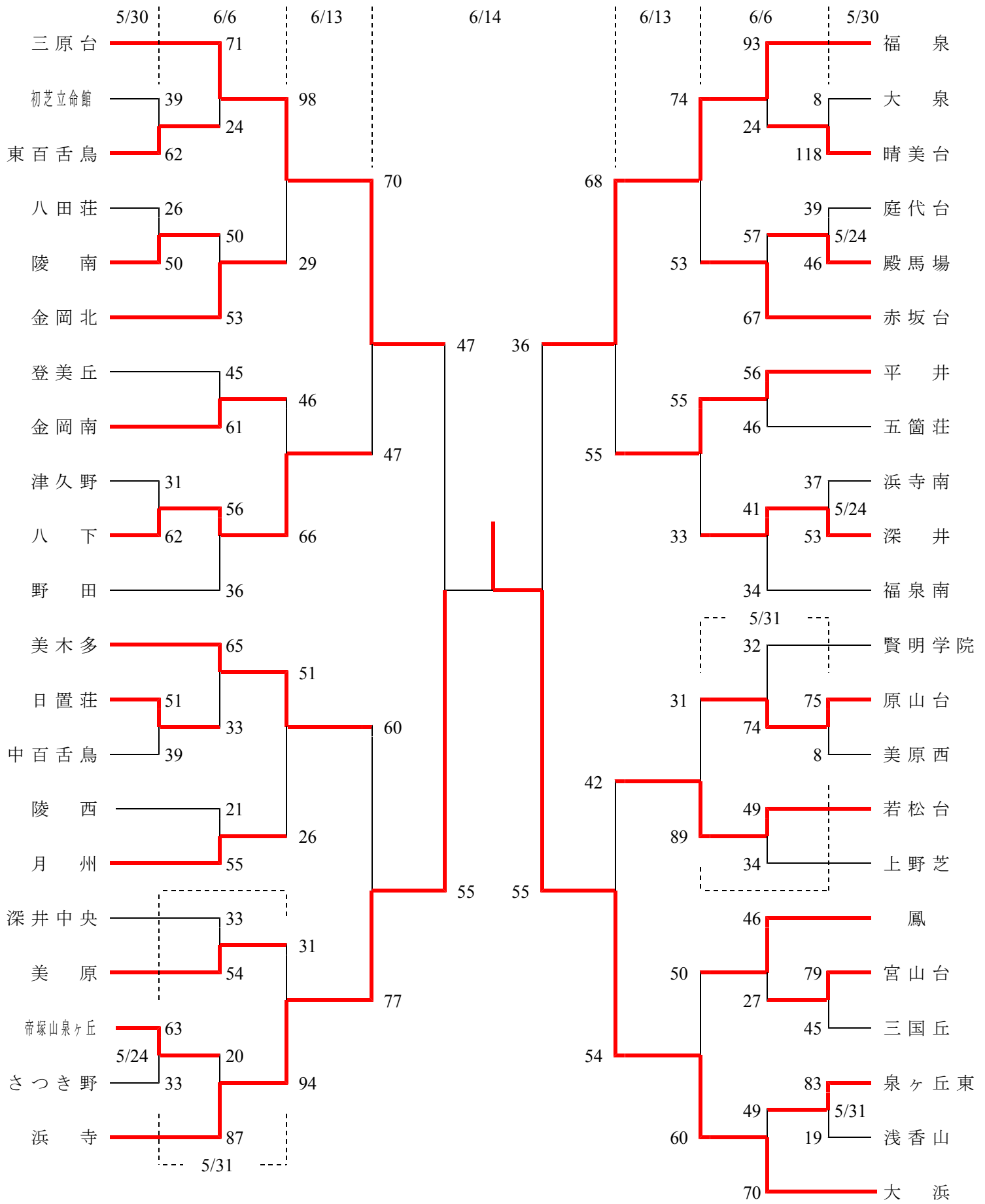
男子の部



決勝

若松台	60 - 79	平井
	16 1Q 15	
	22 2Q 20	
	8 3Q 23	
	14 4Q 21	

女子の部



決勝

浜寺	3	8	-	5	7	大浜
	9	10		11		
	7	20		19		
	11	30		10		
	11	40		17		

男子決勝戦評 若松台 60-79 平井

若松台④⑤⑥⑦⑧、平井④⑤⑥⑦⑧、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がりで平井は1 on 1や⑥を中心としたドライブからの合わせ確実に点を重ねる。リズムをつかめない若松台はタイムアウトで落ち着きを取り戻し、ディフェンスリバウンドからの速攻で徐々にペースをつかむ。

2Qは若松台⑦の3Pから始まる。リズムをつかんだ若松台はディフェンスから平井のミスを誘い、一気に10点差をつける。思うように攻めることができなかった平井であったが、⑤のパスカットからの速攻と相手のテクニカルファウルで流れを取り返す。両チームともにファウルが重なり合う展開から、平井が落ち着いてフリースローを決め、35-38と3点差で前半を終える。

後半に入ると平井がディフェンスをオールコートに変える。平井⑤のドライブ、⑧の3Pが決まり、得意の速い展開に持ち込むと、一気に逆転に成功する。若松台はタイムアウトから流れを変えようとするも、なかなかシュートが決まらず、苦しい時間帯となる。平井はルーズボールや前半で苦しんだリバウンドでがんばりを見せ、46-58と平井がリードしする。

4Qが始まると、まずは若松台が④⑤⑦を中心に連続得点に成功する。しかし平井も積極的に1 on 1をしかけ、⑧の3Pなどで追撃を許さない。その後も点の取り合いが続き、60-79で泉北地区春季大会に続き、平井が優勝を飾った。

(遠藤、中信)

女子決勝戦評 浜寺 38-57 大浜

浜寺④⑤⑦⑧⑪、大浜④⑤⑥⑦⑧、両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。浜寺は④⑤⑧のドライブ、大浜は⑥⑦のインサイドで攻撃を展開していく。しかし、お互いに気迫のこもったディフェンスで得点を許さない。そのような中、大浜は⑥の3Pを皮切りにオフェンスリバウンドで強さを見せ、得点を重ねる。浜寺も④⑤のドライブから合わせで得点し、必死にくらいつく。

2Qも大浜はディフェンスを全員でがんばり、リバウンドからの速攻、⑥⑦のインサイド、⑤のオフェンスリバウンドなどで浜寺にリズムをつかませない。浜寺は④⑧のドライブでチャンスを狙うも、大浜のディフェンスを前に苦しいシュートが続く。浜寺は速攻で意地を見せるものの、大浜のリズムを崩せずに16-30で前半を終える。

後半が始まると大浜のペースを崩すため、浜寺がオールコートでのプレッシャーを強める。大浜のミスをついて、浜寺は④⑤⑧を中心に得点を重ねる。しかし、大浜はリバウンドからの速攻と⑦のインサイドからの得点が冴え、リズムを失わない。浜寺は④を中心に積極的に1 on 1をしかけ、執念を見せる。

浜寺はさらにディフェンスのプレッシャーを強め、足を動かし続ける。オフェンスでも早めにシュートに持ち込むが外からのシュートが思うように決まらない。対して、大浜は浜寺のプレッシャーを跳ね返し、落ち着いたパス回しからフリーの選手を作り、得点を重ねる。

終始リバウンドを支配し続けた大浜が38-57で優勝を飾った。

(額原、近藤)